

2 富士河口湖町の景観の特色

(1) 自然景観

本町は、富士山の眺望、4つの湖、広大な樹海など、我が国を代表する優れた自然景観に恵まれ、四季折々に変化に富んだ美しい風景が展開します。

①シンボル景観である富士山の眺望景観

富士山は、町内のいたるところから眺めることができ、国内随一を誇る標高に加え、広大な裾野をもつ均整のとれた美しい山容は、本町のシンボル景観となっています。

富士山の主要な眺望場所としては、山容全体をダイナミックに展望できる高台に位置する御坂山地や足和田山塊の山の稜線部、湖水景観を近景や中景として富士山を同時に遠望できる河口湖北岸、西湖西岸の根場周辺、精進湖北岸、本栖湖周辺、牧草地などの高原景観を近景や中景としながら富士山を同時に遠望できる富士ヶ嶺地区など、多彩な富士山の眺望場所が町内に広く分布しています。

■富士山や湖の優れた眺望場所

地区名	主な眺望場所
船津・浅川	産屋ヶ崎、天上山展望台、河口湖大橋など
小立・勝山	一湖台、富士ビューホテル、道の駅かつやま周辺など
河口	御坂峠、天下茶屋、三ツ峠山、河口湖北岸の遊歩道など
大石	海蔵寺周辺、大石公園・大石自然生活館周辺、新道峠・大石峠など
長浜・大嵐	一湖台、足和田山（五湖台）、毛無山など
西湖	足和田山（五湖台）、三湖台、紅葉台、根場浜、毛無山、十二ヶ岳、鬼ヶ岳、雪頭ヶ岳、王岳など
精進	他手合浜、王岳、五湖台、三方分山、パノラマ台など
本栖	烏帽子岳、竜ヶ岳、パノラマ台、国道300号、中之倉*など
富士ヶ嶺	高原一帯（ダイヤモンド富士）

注) * 中之倉は身延町ですが、重要な眺望場所で眺望対象は本町域となるため、記載しています。



・産屋ヶ崎から望む富士山と河口湖

②個性豊かな4つの湖水景観

河口湖、西湖、精進湖、本栖湖の4つの湖は、それぞれに異なる規模や形状、周辺環境を有していることから、各湖ごとに特徴ある湖水景観を形成しています。

また、湖水と富士山が織りなす風景は、本町の地域イメージを形成する最も大きな要素となっており、観光リゾート地として際立った個性を与えています。

河口湖や西湖に多くみられる芦原は、湖水景観の魅力を高めているとともに、ヨシキリなど水辺や草原性の鳥類の生息地であり、湖の浄化にも役立っています。

湖水で行われている釣りや各種水上レクリエーション、湖畔でのキャンプなども、本町らしい景観（風物詩）のひとつとなっています。

<湖水景観の特徴>

■河口湖

富士五湖の中で山中湖に次いで2番目の面積があり、東西に長く入り組んだ湖岸線を有しています。北岸からの富士山の眺望に優れ、加えて湖中にうの島があるなど、全体的に変化に富んだ景観を呈しています。

湖畔は、東部がホテル・旅館・観光施設が集積する観光市街地景観が卓越し、西部および南部湖畔は民宿等が立地しているものの全体的に静かなたたずまいの集落地景観や森林景観を呈しています。北部は施設の立地も少なく、森林や自然な水辺など自然景観が多くを占めています。



・河口湖

■西湖

御坂山地と足和田山塊に挟まれ、湖近くまで山が迫っているため、湖畔には民宿やキャンプ場などがみられますが、いずれも小規模であり目立たず、静寂で落ち着きのある自然景観が卓越した湖水景観を呈しています。

湖の南西部では溶岩流が湖に流れ込んだ様子がそのままの形状で残っており、特異で迫力のある景観が展開しています。

湖畔からの富士山の眺望は、足和田山塊で遮られるため、根場付近のみに限定されています。



・西湖

■精進湖

富士五湖の中で最も面積の小さい湖ですが、変化に富んだ形状をしており、富士山の手前に大室山が見える「子抱き富士」の眺望地点として知られています。

湖の中心に向かって青木ヶ原溶岩流が流れ込んでいるため、南側の湖岸は溶岩が多く、北側には砂浜がみられるなど変化に富んだ景観となっています。

北岸周辺にホテル・旅館、キャンプ場、飲食店などが点在していますが、集積は少なく、それ以外は自然景観が卓越した景観となっています。



・精進湖

■本栖湖

水深は138mで富士五湖の中で最も深く、高い透明度を誇り、深く澄んだ色合いの湖面が見られます。

千円札に描かれた逆さ富士の景色でも知られ、ボードセイリングなどの水上スポーツを楽しむ景観も本栖湖らしい景観といえます。

本栖湖バス停付近の一带に旅館、民宿、キャンプ場、飲食店などがみられますが、その他の湖畔は、自然な水辺景観が展開しています。

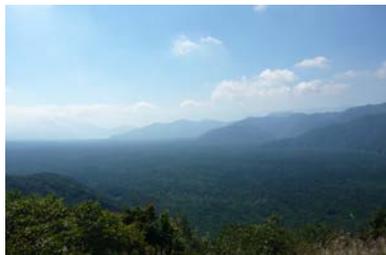


・本栖湖

③ 広大な原生林がつくる樹海景観

本町の南西部一帯の富士山の溶岩上に広がる樹海（青木ヶ原樹海や剣丸尾樹海）は、首都圏の近傍にありながらも広大な面積を有する原生林として稀有な存在です。ほとんど開発の手が入っていないことから、多様な動植物の生息場所ともなっており、世界に誇れる自然景観（自然遺産）となっています。

また、樹海周辺には船津胎内の溶岩樹形、コウモリ穴、竜宮洞穴、富岳風穴、富士風穴など、富士山の噴火と密接な関わりのある特異な自然景観が多くみられ、林内には、東海自然歩道や散策道が整備されているなど、エコツアーやグリーンツーリズムのフィールドとしても親しまれています。



・青木ヶ原樹海



・コウモリ穴



・青木ヶ原エコツアー

④ 絶好の眺望場所である町外縁部の山々

本町の北側には御坂山地の主稜線（三ツ峠山、御坂山、黒岳、鬼ヶ岳、王岳、三方分山など）が東西に長く延びて国中地域と北麓地域の境界を成しています。また、本栖湖の南側には天子山地の北端となる竜ヶ岳があり、西湖の南側には足和田山（五湖台、三湖台、紅葉台）が鳴沢村との境界を成し、東部には三ツ峠山から天上山へ延びる稜線が富士吉田市との境界を成しています。

これらの山々からは、富士山や湖をはじめ、周囲の山々やまちなど、すばらしい眺望景観を得ることができます。そのため、それぞれに登山・ハイキングコースが整備され、絶好の展望コースとして人気が高く、町民や登山客等に親しまれています。

これらの山々は、眺望場所としてだけではなく、眺望対象としては日常的に眺める身近な山、地域のランドマークでもあり、湖水景観などと一体的に本町の地域景観を特徴づけています。



・新道峠からの眺望



・十二ヶ岳からの眺望



・足和田山（五湖台）からの眺望

⑤ 四季を彩る森林景観

本町は、町域の約7割を森林が占めており、湖水景観や山岳景観とともに、本町の自然景観の主な構成要素となっています。

森林は、青木ヶ原樹海の天然林、黒岳周辺のブナの原生林をはじめ、アカマツ、スギ、ヒノキ、カラマツ、モミ等の針葉樹林、クヌギやナラ等の広葉樹林など、多様な林相から成っています。こうした森林は春の新緑、夏の濃緑、秋の紅葉、冬の落葉など、四季折々に風景の変化をつくり出しています。



・新緑の三ツ峠山（開運山）



・濃緑の精進湖周辺の山々



・紅葉の王岳

⑥花の名所

本町には、下表のような花の名所が数多く分布しており、本町の景観に彩りを与えています。特に、桜（ソメイヨシノ、シダレザクラ、フジザクラ）、ラベンダー、紅葉などは、観光客にも人気があり、本町の国際観光都市としてのイメージ形成にも寄与しています。

近年、河口湖畔の天上山や浅川浜、西湖畔などにアジサイが植えられ、浅川浜にはさらにスイセンなどが植えられており、花の名所づくりが進められています。

また、御坂山地などではトウゴクミツバツツジ、ニッコウキスゲなどの高山植物が自生しており、登山・ハイキングコースの中の見どころとなっています。特に、三ツ峠山は高山植物の宝庫で、山梨百名山の選定の際、県が募集した百名山に入れたい山のナンバーワンとなった山でもあります。

■ まちなかの花の名所（例示）

種別	花期	主な名所
スイセン	3月中～下旬	浅川浜
桜（ソメイヨシノ）	4月中～下旬	産屋ヶ崎、奥河口湖さくら公園、富士御室浅間神社など
フジザクラ	4月中旬～5月上旬	船津胎内周辺、野鳥の森公園、青木ヶ原樹海など
シダレザクラ	4月中旬～5月上旬	富士ビューホテル周辺
シバザクラ	4月中旬～5月中旬	河口湖美術館周辺の湖畔
ミツバツツジ	5月上旬	船津胎内周辺、野鳥の森公園、青木ヶ原樹海など
ワイルドフラワー	5月～9月	奥河口湖さくら公園、大石公園
ラベンダー	6月下旬～7月中旬	八木崎公園、大石公園、大池公園
アジサイ	7月上旬～8月上旬	天上山、浅川浜、西湖湖畔
ツキミソウ	7月上旬～8月下旬	大石公園、円形ホール周辺
コスモス	9月上旬～10月下旬	河口湖畔
紅葉	10月下旬～11月中旬	梨川周辺、河口湖北西岸周辺、富士ビューホテル、野鳥の森公園、青木ヶ原樹海など

■ 山の花の名所（例示）

種別	花期	主な名所
カタクリ	4月上旬～	黒岳
トウゴクミツバツツジ	6月上旬～中旬	三ツ峠山、青木ヶ原樹海
スズラン	6月上～下旬	三ツ峠山
アヤメ	6月上～下旬	三ツ峠山、御坂山地
ヤマツツジ	6月上～下旬	御坂山地
ニッコウキスゲ	7月上～下旬	大石峠
オオバギボウシ	7月上旬～8月下旬	三ツ峠山
マツムシソウ	8月上旬～9月下旬	三ツ峠山
フジアザミ	8月上旬～9月下旬	三ツ峠山



・ 大石公園のお花畑

(2) 歴史文化的景観

本町は、古来より富士山信仰の拠点、甲斐と駿河を結ぶ街道筋の宿場として栄えた歴史があり、往時をしのぶ歴史文化資源も多く、潜在的な景観資源となっています。

①富士山信仰と歴史遺産の景観

富士山は長く遥拝の対象として神聖視され、平安時代初期（9世紀）には、山麓に富士山の噴火を鎮めるための「浅間神社」が建てられました。

その後、平安時代後期（11世紀）には修験道の道場となり、室町時代には村山口（富士宮市）、吉田口（富士吉田市）などの登山道も開かれ、富士山は登拝する山として一般庶民に広く知られるようになりました。近世には、富士山信仰の広まりにあわせて多くの登拝者が訪れました。

それに伴い、各登山道には登拝者を宿泊させ、登拝前の神事を行い、登拝に必要な準備の世話をする「御師（おし）」や「坊（ぼう）」が整えられました。

一方、室町時代末期に始まった「富士講」が、江戸時代中期に非常に盛んになり、吉田口から多くの人々が登拝するようになりました。これに伴ない主たる登山口が現在の富士吉田市に移行し、本町では、かつての賑わいはなくなりましたが、現在でも往時をしのぶ富士御室浅間神社や河口浅間神社、河口地区の御師集落のまち並み、船津登山道周辺には信仰に係わる祠、石碑、各種の祭礼などの歴史遺産が見られ、これらは本町の歴史文化的景観の重要な要素となっています。

②古道と歴史遺産の景観

古来、甲斐と駿河を結ぶ古道としては、富士山東麓の御坂路（鎌倉街道）、富士山西麓の中道往還と若彦路、富士川沿いの駿州往還の四筋の道があり、このうち「御坂路（鎌倉街道）」、「若彦路」、「中道往還」の三筋が本町を通過していました。

これらの古道沿道には、社寺をはじめ、馬頭観音、道祖神、地蔵、石像など往時をしのぶ数多くの歴史遺産が分布しており、潜在的な景観資源となっています。

■御坂路(鎌倉街道)

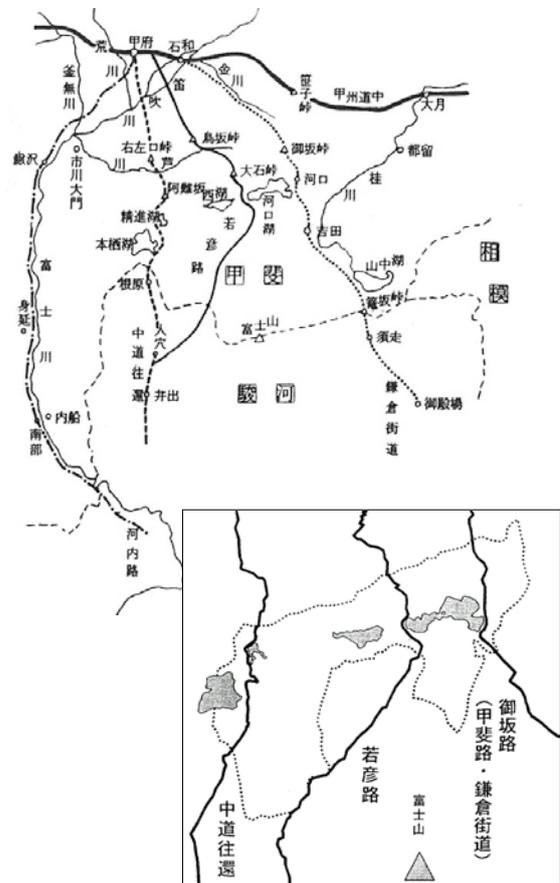
現在の笛吹市石和から御坂峠を越えて本町に入り、笠坂峠を越えて御殿場方面に至る、概ね現在の国道137号、138号のルートにあたります。官道として四筋の中では最も多く利用されていました。現在は、歴史の道100選に指定されています。

■若彦路

甲府市から笛吹市芦川、大石峠を越えて本町に入り、大石、長浜、大嵐、鳴沢から富士山麓の原野を経て、富士宮市上井出にて「中道往還」と連絡するルートにあたります。鎌倉往還の脇往還、富士北麓地域の駿河や国中と往来する生活道路としての役割をもっていました。

■中道往還

甲府市から右左口峠を越え、古関からさらに女坂（阿難坂）峠を越えて本町に入り、精進湖西岸を経て富士宮市に至る概ね国道358号、139号のルートにあたります。中世は軍用道路として使用されましたが、江戸時代には脇街道となり、甲斐と駿河を結ぶ最短ルートとして富士川水運と鮮魚輸送を競ったといわれています。



③御師の歴史的まち並み景観

富士山信徒の受け入れの一切を司るのが御師で、かつては富士山北口では河口（船津を含む）と吉田の二口に限られていました。

先鞭をつけたのが河口の御師たちで、河口十二坊といわれ、最盛期には140坊以上の御師集団となって栄えたといわれています。

鎌倉街道の宿場町であった河口は、富士山信仰の拠点として参詣者の案内や宿泊を生業とした御師たちが集住する御師のまちとして知られています。

往時をしのぶ板葺き・茅葺き屋根の面影を残す伝統的な家屋や門も残されており、間口が狭く奥行きが深い短冊形地割を基本とした典型的な堅家*の家並み景観がみられます。



・河口集落のまち並み

■河口集落の町割りと御師の遺構



④伝統的な集落景観と歴史資源

本町には、富士信仰、旧街道（鎌倉街道、若彦路、中道往還）の歴史を反映して、河口、大石、小立、勝山、長浜、大嵐、西湖、根場、精進、本栖など、往時の名残を留めている伝統的な農山村集落が多く分布しています。

これらの集落地には、古道の歴史的な道筋をはじめ、茅葺きの形態を残す大屋根の民家群、社寺や鎮守の杜となっている社寺林、地域のシンボルとなっている大木、古木、屋敷林、旧街道沿いに多く分布する祠や道祖神、石仏、馬頭観音、塚、集落や農地の古い石垣など、往時の歴史を伝える小さな歴史資源が多く分布し、それぞれの集落の景観を特徴づけています。

⑤その他の歴史文化的景観資源

■文人・芸術家ゆかりの碑など

本町に関わりのある文人・芸術家としては、太宰治、井伏鱒二、谷崎潤一郎、与謝野晶子、岡田紅葉、田中冬二、中原淳一、与勇輝、久保田一竹などがいます。町内にはこれら文人・芸術家に関わる美術館をはじめ、数多くの句碑や歌碑が分布し、町の文化的な景観イメージを牽引しています。



・与謝野晶子の歌碑

■歴史を感じさせる建造物

近代遺産として登録文化財に指定されている「御坂隧道」をはじめ、文化財に指定されていないが歴史を感じさせる建造物として、長浜の発電所、農村集落に分布する茅葺きの形態を残す大屋根の民家群などが挙げられます。これらは学術的な価値以外に、本町の歴史的景観資源としての価値を有するものです。



・御坂隧道

注) * 妻側に入り口をもつ妻入形式の主家および妻側が街道に面した平入形式の主屋をあわせて堅家と呼びます。

(3) 田園景観

富士ヶ嶺地区では広大な酪農景観が広がり、大石地区や河口地区では、里山と一体となった特色ある田園景観が形成されています。

①酪農景観

富士ヶ嶺地区は、富士の裾野を開墾した 1,600ha もの広さをもつ山梨県下最大の酪農地帯であり、富士山を背景に広大な牧草地や点在する牧場等の開放感のある高原の風景は、本町西部に展開する特徴的な景観のひとつとなっています。



・富士山を背景にした広い牧草地



・牛の放牧

②田園景観

大石地区や河口地区には比較的広く農地が分布し、富士山を背景に周辺の里山や集落地と一体となって、のどかな農村景観が広がっており、本町の景観の特色のひとつとなっています。

しかしながら、農業従事者の高齢化、後継者の不足等により農地は減少し、耕作放棄地も増加する傾向にあります。

一部にはサクランボやワイン用のブドウ栽培、あるいは観光農園などの新しい農業への試みも行われていますが、全体的には田園景観の荒廃や消失がゆるやかに進行している状況にあります。



・大石地区のトウモロコシ畑



・河口地区の水田地帯

③原風景としての里山の景観

里山は、古くから薪や炭をつくり出し、山菜やキノコを採るなど、地域の生業や生活と深く関わりながら維持されてきた身近な山林で、本町の集落地周辺に広く分布しています。

里山の景観は、集落地や農地と一体となって、農村景観にまとまりと四季の変化や彩りを与えてくれますが、生活様式の変化から人と里山との関わりが薄れてきたことや、人工林における林業従事者の減少や高齢化などにより、手入れがされず放置されている山林が増加しています。そのため、ふるさとの原風景である里山の景観は、荒廃が進んでいる状況にあります。



・里山に抱かれたたずむ精進集落

(4) 賑わい景観

本町は国際観光地として年間約 469 万人の来訪者があります。とりわけ、施設が集積する主要な商業地や観光地などは、多くの町民や観光客がみられ、賑わいある景観を形成しています。

① 商業地景観

■ 河口湖駅前商店街

本町の玄関口となっており、古くから形成された駅前商店街で、みやげ物や飲食店などを中心に観光客や来訪者が行き交う賑わい景観がみられます。近年、駅舎と駅前広場が整備され新たな駅前景観が創出されました。



・ 河口湖駅前商店街

■ 河口湖通り商店街、本町通り商店街など

湖畔のホテル・旅館街とともに、古くから形成された本町の中心的な商店街ですが、近年、空き店舗の増加など、空洞化が進行しています。これらに対し、国道 137 号の拡幅整備が進められている他、地元では活性化や景観まちづくりに向けた取り組みが行われています。



・ 河口湖通り商店街

■ 国道 139 号沿道

4 車線道路の両側にロードサイド型商業施設が立地し、賑わいあるまち並み景観が形成されていますが、近年、大型看板や派手な商業看板などが乱立し、景観的な混乱が生じつつあります。



・ 国道 139 号の沿道景観

■ 河口湖大橋通り(県道富士河口湖富士線)沿線

町役場など拠点的な行政文化施設が集積し、ロードサイド型施設の立地も進み、賑わいのあるまち並みが形成されつつあります。

② 観光地景観

■ 河口湖周辺

○ 河口湖東岸

河口湖大橋より東側の観光ゾーンで、湖畔には大池公園や県営駐車場、湖畔遊歩道などが整備され、ホテルや旅館、土産物店などが多く立地しており、河口湖観光の中心的なゾーンとして、賑わいのある景観を呈しています。



・ 河口湖東岸の観光ゾーン

○ 河口湖北岸

河口地区および大石地区の湖畔の観光ゾーンで、美術館や文化交流施設、立ち寄り型の観光施設、レストラン等が多く立地しており、河口湖の主要な観光ゾーンとして、賑わい景観を形成しています。



・ 河口地区の湖畔観光ゾーン

○ 河口湖南岸

河口湖南岸の勝山、小立の湖畔観光ゾーンで、湖畔の公園や富士御室浅間神社、観光施設が多く立地しており、河口湖の観光ゾーンのひとつとして、賑わいのある景観を呈しています。

■ その他の観光スポット

その他、西湖のいやしの里根場をはじめ、西湖、精進湖、本栖湖、富士ヶ嶺周辺には、水辺や景観を活かした特色ある観光スポットが分布しており、シーズンには賑わいをみせています。



・ ハーブフェスティバル (八木崎公園)

③ 工業地景観

勝山地区の国道 139 号周辺には、工業施設の立地が進んでおり、工業地のまち並みが形成されています。

(5) 暮らしの景観

身近な公共施設や住宅地・集落地のまち並み、年間を通して行われている様々な伝統行事やイベントなどは、地域の暮らしぶりの現われであり、富士河口湖町らしさを形成する重要な景観となっています。

①身近な公共施設の景観

船津、小立、河口、大石、勝山、長浜、大嵐、西湖、精進、本栖、富士ヶ嶺など、地域生活の中心となっているところには、出張所、小中学校、公民館などの身近な公共施設が立地しています。こうした身近な公共施設は地域の目印、交流の場となっており、人々の意識が集まる場所として、暮らしの景観を特徴づけています。

②住宅地・集落地の景観

■古くからの集落地景観

本町の集落地は、明治期に成立した集落地を母体として発達したもので、4つの湖周辺の平坦地を中心に大小の集落地が分布し、地域の集落景観を形成しています。

これらの集落地は、富士信仰、旧街道（鎌倉街道、若彦路、中道往還）の歴史性や人々の永い営みを反映して、堅家のまち並みや御師の家など、往時の名残を留めている伝統的な集落も多く、趣のある景観を形成しています。

■主な集落地の景観的な概要等

主な集落地	景観的な概要等
小立・勝山	河口湖南岸に古くから形成された集落地で、現在は、小立と勝山の市街地は連担しており、一部に集落の趣を残す市街地景観を呈している。
河口	江戸末期から近代にかけて御師の集住する集落として発達し、社寺や集落形態などに往時の名残がみられる。周辺は里山に囲まれ、湖側には広く農地景観が展開している。
大石	古くから形成された農業集落地で、茅葺きの形態を残す大屋根の民家が点在するなど、往時の面影を残す景観がみられる。周辺は里山に囲まれ、平坦地を中心に広く農地景観が展開している。平成22年3月の若彦トンネルの開通により、地域の活性化と景観コントロールが期待される。
長浜	河口湖の西端にあり、旧足和田村の中心部にあたる。周辺は里山に囲まれ、湖畔に沿った緩傾斜地に民家や畑が点在する趣のある集落地である。
大嵐	古くから形成された里山に囲まれた静かな集落地で、蓮華寺を中心に古民家、石垣、水路など、往時の面影を残す景観がみられる。
西湖	西湖の東側に形成された集落地で、周辺は里山に囲まれ、茅葺きの形態を残す大屋根の民家が残るレトロで、趣のある集落地景観を呈している。近年、空き家や廃屋などもみられる。
根場	古くから形成された集落地であるが、昭和41年の台風災害で壊滅的被害を受け、民宿村として新たな集落景観を形成しつつある。現在は、災害の跡地に「西湖いやしの里」が建設され、茅葺き民家を中心とした当時の家並み景観が再現されている。
精進	かつては中道往還の伝馬宿として栄えたが、昭和41年の台風による被害を受け、現在の精進湖民宿村に集団移住したため、集落内は空き家や廃屋などが目立っている。路線型の集落景観、天然記念物の大杉、諏訪神社などに往時の面影を残す景観がみられる。
本栖	中道往還の宿場町として栄え、「本栖千軒」と呼ばれる町場が形成されていたが、現在は、関所跡、社寺などに、往時の面影を残すに留まっている。

■住宅地の景観

住宅地は、古くから形成された船津の中心市街地とその南西郊外部に形成されており、船津の中心市街地の住宅地は比較的古い住宅が密集する住宅地景観を呈していますが、その中に路地や社寺などの景観が住宅地景観と一体となり、趣のあるまち並み景観を形成しています。

中心市街地の南西側や国道139号周辺にかけては宅地化が進みつつあり、新しい住宅地景観が形成されつつあります。

■別荘地・民宿村等の景観

別荘地は、河口、大石、長浜、富士ヶ嶺などに、また、民宿村やペンション村は、河口湖、西湖、精進湖周辺に多く分布していますが、全体的に周辺の自然景観と調和した別荘・民宿地景観を形成しています。

③伝統行事やイベントの景観

町内では、代表的な伝統行事である勝山地区の富士御室浅間神社の「甲斐の勝山やぶさめ祭り」や河口地区の河口浅間神社の「稚児の舞」をはじめ、年間を通じて下表のような祭りや伝統行事、イベントが行われ、多くの町民や観光客が訪れています。また、地域では、これ以外にも小さな祭りや行事なども数多く行われています。

こうした伝統行事やイベントは、本町の風物詩となっており、町のイメージを形成するとともに、富士河口湖町らしさや、地域の個性を特徴づける景観要素となっています。

■富士河口湖町の主な伝統行事・イベント

(平成24年12月現在)

1月	●本栖竜ヶ岳初日の出イベント (1/1) ●冬花火・湖上の舞 (中旬～2月中旬)	8月	●精進湖カヌー選手権 (上旬) ●西湖竜宮祭 (8/2) ●神湖祭 (8/3) ●涼湖祭 (8/4) ●河口湖湖上際 (8/4～5) ●盆踊り大会 (8/14) ●ガーデニングまつり (8/14～15) ●奥河口湖長浜ふるさと祭り (8/15) ●富士ヶ嶺開拓まつり (上～中旬) ●精進石尊祭 (8/17) ●富士河口湖音楽祭
2月	●西湖・河口湖水まつり (上旬) ●本栖六斎念仏 (中旬) ●富士山の日 (2/23) ●野鳥観察会 (下旬)		
4月	●河口浅間神社例大祭・稚児の舞 (4/25) ●富士御室浅間神社春の例大祭 (4/25) ●甲斐の勝山やぶさめ祭り (4/29) ●精進湖湖水開き (4/29) ●富士桜・ミツバツツジ祭り (下旬～5月上旬)		
5月	●富士山ご来光号 (5/1～11/14) ●本栖公家行列 (5/17) ●秋葉神社春の例大祭 (5/25)	9月	●富士御室浅間神社秋の例大祭 (9/9) ●八王子神社秋の例大祭 (9/9) ●金山神社・諏訪神社例大祭 (9/9) ●八王子・筒口神社例大祭 (9/18) ●浅間日月神社例大祭 (中～下旬) ●道の駅かつやま感謝祭
6月	●本栖六斎念仏 (6/15) ●西湖ロードレース (第3日曜) ●河口湖ハーブフェスティバル (下旬～7月中旬)	10月	●富士ヶ嶺農業まつり (上旬) ●秋葉神社秋の例大祭 (10/25) ●富士河口湖・もみじマーチ (下旬) ●河口湖バスの祭典 (下旬) ●本栖湖一周マラソン (下旬)
7月	●富士山・河口湖山開き花火大会 (第1土曜) ●ブルーベリー摘み取り農園 (上旬～8月中旬) ●イチゴ摘み取り農園 (上旬～10月上旬) ●天上山アジサイ見学 (中旬～8月下旬) ●河口浅間神社太々神楽祭・稚児の舞 (7/28) ●里宮河口湖まつり (下旬) ●精進湖カヌー大会 (下旬)	11月	●富士河口湖紅葉まつり (上～中旬) ●日刊サイクルグランプリ (第2日曜) ●富士山マラソン (最終日曜)
		12月	●河口湖光のファンタジア (11/1～2/23)

④漁業や農業の景観

河口湖や西湖では、ヒメマス等の養殖筏の作業や釣りなどの漁業の風景がみられます。

また、農地が広く分布する大石地区や河口地区などでは、農家の人々の営農風景やシーズンの観光農園におけるブルーベリー、サクランボ狩りの賑わいある風景などを目にします。

こうした屋外で展開される産業景観は、本町の風物詩として季節感や暮らしの景観を特徴づける景観要素となっています。

(6) 施設の景観

道路や公園、主要な公共公益施設等の建築物、大きな土木構造物などは、風景のなかでも視認されやすく、地域景観を特徴づける重要な景観要素となっています。

①道路景観

道路は、不特定多数の人が利用する代表的な公共空間であり、沿道景観を含む道路景観は地域景観を形成する重要な景観要素です。また、地域景観といった時に多くの来訪者が見る風景は道路からの眺めであり、道路というのは、大切な視点場でもあります。

本町では、国道139号、湖北ビューライン（主要地方道河口湖精進線）、河口湖大橋通り、都市計画道路船津小海線、町道河口湖インター線、河口浅間通り、河口湖畔のウォーキングトレイルなどで景観に配慮した道路整備が進められていますが、まだ一部の道路や区間に限られています。



・湖北ビューライン（河口地区）



・町道河口湖インター線

②公園・広場等の景観

町民や観光客の憩いの場、自然とのふれあいの場、スポーツやレクリエーションの場として利用されている公園・広場等は、まちに潤いや賑わいを与え、まちの目印としても景観上重要な役割を果たしています。

町内の主な公園・広場としては、下表のようなものが挙げられますが、公園・広場以外にも市街地・集落地内や観光地に、ポケットパーク等が整備されており、景観的なアクセントになっています。

■主な公園・広場等

大石公園、河口湖総合公園、くぬぎ平スポーツ公園、天上山公園、小曲展望広場、林作公園、大池公園・梨宮公園、八木崎公園、小海公園、シッコゴ公園、かえで公園、奥河口湖さくら公園、西湖野鳥の森公園、河口湖畔ウォーキングトレイル・遊歩道など



・河口湖総合公園



・大池公園

③主要な公共公益施設等の景観

駅や学校、行政、文化施設をはじめ、町内に数多く分布する各種の観光レクリエーション施設などは、多くの町民や観光客等に利用され、交流や賑わいの景観を形成しています。また、そうした公共公益建造物は、比較的規模が大きなものが多く、個性的なデザインのものもあるため、景観的なシンボル、地域の目印として地域景観を特徴づけています。

■主要な公共公益施設

●主な公共建築物

(町役場等の行政施設、学校等の教育施設、美術館など文化交流施設、町民体育館などのスポーツレクリエーション施設)

●観光レクリエーション施設

(美術館・博物館、見学・体験施設、農産物直売所、温泉入浴施設、キャンプ場など)



・富士河口湖町役場



・勝山ふれあいセンター



・河口湖ハーブ館

④土木構造物の景観

大きな土木構造物は、風景の中でも目につきやすく、特に自然景観の中では、デザイン的な工夫や配慮がないと景観阻害要因となりがちです。

今後整備を行う大きな土木構造物については、周辺環境の特性を十分に考慮したうえで、デザイン的な工夫や配慮を行っていく必要があります。

■主要な土木構造物

●道路構造物(国道、主要地方道、県道、主要な町道など)

●橋(河口湖大橋、本栖大橋、赤池大橋、青木ヶ原大橋、瀬々波橋、国道等の高架部など)

●トンネル(新御坂トンネル、御坂隧道、(仮称)新倉トンネル、湖北ビューラインのトンネル群、若彦トンネル、精進湖トンネル、宇の岬トンネル、本栖トンネルなど)

●ロープウェイ(河口湖ロープウェイ)

●道路や治山施設等の巨大な擁壁、法面構造物、堰堤など

●湖・河川の構造物(護岸構造物、水門、堰、水制工など)



・県道富士河口湖芦川線(若彦路)



・河口湖大橋



・河口湖ロープウェイ



・法面構造物



・嘯治水トンネル